テナント管理

- テナント管理のガイドライン （1 ページ）
- テナントの追加 （2 ページ）
- テナントまたは Vrf 間でグローバル契約の設定 （3 ページ）
- マルチサイトGUI を使用した EPG 内分離の設定 （4 ページ）
- マルチサイト GUI を使用した マイクロセグメント EPG の設定 （5 ページ）
- Epg を使用して、ドメインに関連付け、 マルチサイト GUI （7 ページ）
- 統合ビューですべてのテナントを表示する （8 ページ）

テナント管理のガイドライン

テナントを管理するには、パワー ユーザまたはサイトとテナント マネージャの読み取り/書き込みロールのいずれかが必要です。

テナントとそのポリシーは、次の 2 つの方法のいずれかで作成できます。

- APIC サイトから完全に設定済みのテナントをインポートします。
- テナントを作成し、マルチサイト Orchestrator GUI でポリシーを設定します。

次のテナント ポリシーとその関連付けは、マルチサイト Orchestrator GUI で設定できます。

- アプリケーション プロファイルと EPG
- VRF
- サブネットを持ち、拡大またはサイトに合わせてローカライズされた設定を持つブリッジドメイン
- コントラクトとフィルタ
- L3 Out
- 外部 EPG
- EPG との物理または VMM ドメインとの関連付け
- EPG 内分離

- マイクロセグメント化された EPG
- ポート、PC、または VPC に展開された EPG

テナントの追加

このセクションでは、マルチサイト Orchestrator GUI を使用してテナントを追加する方法について説明します。

始める前に

テナントの作成および管理には、パワー ユーザまたはサイト マネージャの読み取り/書き込みロールを持つユーザが必要です。

ステップ 1 Cisco ACI マルチサイト Orchestrator GUI にログインします。

ステップ 2 メイン ペインの右上にある **[テナントの追加 (Add Tenant)]** をクリックします。

ステップ 3 **[表示名 (Display Name)]** フィールドに、テナント名を入力します。

Orchestrator の GUI 全体で、テナントが表示されるたびに、テナントの**表示名**が使用されます。ただし、Cisco APIC でのオブジェクトの命名要件により、無効な文字は削除され、その結果として得られた**内部名**が、サイトにテナントをプッシュするときに使用されます。テナントの作成時に使用される**内部名**は、**[表示名 (Display Name)]** テキストボックスの下に表示されます。

テナントの**表示名**はいつでも変更できますが、テナントの作成後に**内部名**を変更することはできません。

ステップ 4 (オプション) **[説明 (Description)]** フィールドに、テナントの説明を入力します。

ステップ 5 **[関連付けれられたサイト (Associated Sites)]** セクションで、サイトを選択します。

a) このテナントを使用するテンプレートの展開を予定しているすべてのサイトをオンにします。

選択したサイトのみが、このテナントを使用している任意のテンプレートで使用可能になります。

（注） MPLS ネットワーク経由で接続されているサイトを選択した場合は、次のようになります。

b) **[セキュリティ ドメイン (Security Domains)]** フィールドで、ドロップダウン リストからセキュリティ ドメインを選択します。

セキュリティ ドメインは Cisco APIC GUI を使用して作成し、アクセスをコントロールするために、さまざまな Cisco APIC のポリシーとユーザ アカウントに割り当てることができます。詳細については、*Cisco APIC* ベーシック コンフィギュレーション ガイドを参照してください。

ステップ 6 **[関連付けられているユーザ (Associated Users)]** セクションで、Orchestrator ユーザを追加します。

テンプレートを作成するときに選択したユーザのみが、このテナントを使用できます。

ステップ 7 (オプション) 整合性チェッカ スケジューラを有効にします。

これにより、定期的な整合性チェックを有効にできます。整合性チェッカ機能の詳細については、*Cisco ACI Multi-Site Troubleshooting Guide*を参照してください。

ステップ 8 **[保存 (SAVE)]** をクリックして、テナントの追加を終了します。

テナントまたは Vrf 間でグローバル契約の設定

この使用例は他のテナントまたは Vrf Epg にサービスを提供するデータセンター用です。サービスを消費するために、すべての Epg の有効化する契約を提供します。

詳細についてを参照してください、 サービス プロバイダー *EPG* の拡大が共有 使用例で、*Cisco ACI* マルチサイト の基礎ガイド 。

始める前に

テナント、Vrf、ブリッジ ドメイン、アプリケーション プロファイル、Epg、およびその他の契約 (を提供し、サービスを利用するすべてのサイト) のスキーマを作成します。

テナント、Vrf、BDs、および Epg は、サイトをまたぐにする必要はありません。

ステップ 1 プロバイダーのスキーマを開きます。

ステップ 2 次の手順でフィルタ (基本的には、アクセス コントロール リスト) を作成します。

a) + アイコンをクリックしてフィルタを追加します。
b) フィルタ名を入力します。
c) + アイコンをクリックしてエントリを追加します。
d) エントリ名を入力します。
e) 残りのフィルタに必要なデータを入力し、をクリックして **保存** 。

ステップ 3 次の手順を使用して契約を作成します:

a) + アイコンをクリックして契約を追加します。
b) 契約名を入力します。
c) グローバルには、契約範囲を変更します。

   これにより、契約への複数の vrf Epg にアクセスできます。

d) をクリックします + アイコンをフィルタを追加して、作成したフィルタを選択します。
e) **[Save（保存）]** をクリックします。

ステップ 4 次のアクションを契約とサービスを提供する EPG に関連付けます。

a) EPG をクリックします。
b) + アイコンをクリックして契約を追加します。
c) 先補と作成したグローバル契約を選択します。
d) タイプを設定 **プロバイダー** 。
e) **[Save（保存）]** をクリックします。

f) をクリックして **サイトを展開します。**サイトを確認し、をクリックして **導入** 。

ステップ 5 契約を次のアクションを消費者として Epg を関連付けます。

a) 各コンシューマ スキーマを開きます。
b) EPG をクリックします。
c) + アイコンをクリックして契約を追加します。
d) **契約** フィールドで、契約名の入力を開始します。契約は、リストが表示されたら、それを選択します。
e) タイプを設定 **コンシューマ** 。
f) **[Save（保存）]** をクリックします。
g) スキーマの他の Epg に契約を関連付けます。
h) をクリックして **サイトを展開します。**
i) サイトを確認し、をクリックして **導入** 。

マルチサイトGUI を使用した EPG 内分離の設定

内通 EPG 分離が適用される分離が動作している EPG のエンドポイント間で使用できます。分離を適用したEGPでは、多くのクライアントが共通サービスにアクセスするときに必要なEPGカプセル化の数は低減しますが、相互間の通信は許可されません。EPGは、すべてのACIネットワーク ドメインに分離が適用されているか、またはどのドメインにも適用されていないかのいずれかです。ACI ファブリックは接続エンドポイントに直接分離を実装しますが、ファブリックに接続されているスイッチはプライマリ VLAN（PVLAN）タグに従って分離規則を認識します。

EPG 内エンドポイント分離を適用して EPG を設定した場合は、次の制限が適用されます。

- 分離を適用した EPG 全体のすべてのレイヤ 2 エンドポイント通信がブリッジ ドメイン内にドロップされます。
- 分離を適用した EPG 全体のすべてのレイヤ 3 エンドポイント通信が同じサブネット内にドロップされます。
- トラフィックは、EPG に適用される分離なしの分離適用で、EPG から転送すると、優先順位の設定がサポートされていません QoS CoS を保持します。
- マルチサイト、内通 EPG 分離は AV VLAN モードと DVS VXLAN モードではサポートされていません。適用する内通 EPG の分離を設定すると、これらのドメインにブロックされた状態に移動するポートと可能性があります。
- ブリッジ ドメインが「レガシー BD モード」として設定されている場合、内通 EPG 分離がサポートされていません。

始める前に

- Epg に関連付けられているテナントを作成します。

- テナント ポリシーをインポートまたはテナントの VRF、ブリッジ ドメインがある場合内通 EPG 分離以下 Epg を含むアプリケーション ネットワーク プロファイルを含むスキーマを設定します。

ステップ 1 分離する Epg が設定されているスキーマとテンプレートを開きます。

ステップ 2 EPG をクリックします。

ステップ 3 **Enforced** を選択し、警告を読み、**OK**を選択します。

ステップ 4 オプション。その他の Epg に分離適用を設定します。

ステップ 5 サイトの場所に配置されます (内通 EPG 分離に設定されている) Epg を含むテンプレートにプッシュします。

ステップ 6 導入のサイトとテンプレートをクリックし、EPG] をクリックします。

ステップ 7 **ADD STATIC PORT** をクリックします。

ステップ 8 選択、 **パスのタイプ** (ポート、ポート チャネルを直接、またはバーチャル ポート チャネル)。

ステップ 9 **LEAF** を選択します。

ステップ 10 **PATH** を選択します。

ステップ 11 **ポート ENCAP VLAN** フィールドで、EPG のトラフィックに使用する VLAN 番号を入力します。

ステップ 12 **導入即時** フィールドで、選択 **オンデマンド** または **即時** 導入します。

ステップ 13 **モード** フィールドで、選択 **トランク** 。

ステップ 14 オプションで、他の適用の分離を持つ Epg の手順を繰り返します。

次のタスク

変更を Epg が配置されているサイトにプッシュします。

マルチサイト GUI を使用した マイクロセグメント EPG の設定

Cisco ACI マルチサイト を使用してマイクロセグメンテーションを設定し、ネットワークベースの属性 (IP、MAC、DNS) または VM ベースの属性 (VM ID、VM 名、VMM ドメインなど) を使用する、属性ベースの EPG を作成することができます。これにより、1 つの基本 EPG 内の VM または物理エンドポイント、または異なる EPG の VM または物理エンドポイントを分離することができます。

Cisco ACI マルチサイト で設定できるのは、マイクロセグメント (uSeg) EPG の基本的なオプションだけです。高度なオプションと使用例、およびマイクロセグメント化された EPG の詳細については、「*Microsegmentation with Cisco ACI*」 の章 『*Cisco ACI Virtualization Guide, Release 3.0*』参照してください。

（注） EPG を作成するとき、まずアプリケーション EPG を作成し、後ほどそれを uSeg EPG に変更する場合には、EPG に別の名前を割り当てるか、次の手順で、アプリケーション EPG を削除してから uSeg EPGを追加する必要があります:

1. スキーマからアプリケーション EPG を削除します。
2. サイトにスキーマを展開します。
3. uSeg EPG を作成します。
4. サイトにスキーマを再配置します。

Cisco ACI マルチサイト を使用してマイクロセグメント化された EPG を設定するには、次の手順に従います:

始める前に

- マイクロセグメント化される EPG に関連付けられるテナントを作成します。
- テナント ポリシーをインポートするか、またはテナントの VRF、ブリッジ ドメイン、EPG を含むアプリケーション ネットワーク プロファイルを含むスキーマを設定します。
- テナントでは少なくとも 1 つのアプリケーション EPG を作成します。

ステップ 1 EPG が設定されているスキーマを開きます。

ステップ 2 EPG をクリックします。

ステップ 3 **USEG EPG.** をクリックします。

ステップ 4 **ADD USEG ATTRIBUTES** をクリックします。

ステップ 5 [DISPLAY NAME] フィールドで、属性の名前を入力します。

ステップ 6 **ATTRIBUTE TYPE** を選択します。これは次のいずれかになります:

- **IP**
- **Mac**
- **[DNS]**
- **VM Name**
- **VM Data Center**
- **VM Hypervisor Identifier**
- **VM Operating System**
- **VM Tag**
- **VM Identifier**

- **VM VMM Domain**
- **VM VNIC DN** (vNIC ドメイン名)

ステップ 7 変更を保存します。

次のタスク

マルチサイト GUI を使用して、uSeg EPGをドメインに関連付けます。

Epgを使用して、ドメインに関連付け、マルチサイトGUI

始める前に

- [Epg に関連付けられているテナントを作成 Cisco ACI マルチサイト します。
- ドメイン プロファイル (VMM、L2、L3、またはファイバ チャネル) を作成 APIC します。
- テナントのポリシーをインポート Cisco APIC (テンプレート) を持つスキーマを設定またはマルチサイト、テナントの VRF、ブリッジ ドメインおよびドメインに関連付けられる Epg を含むアプリケーション ネットワーク プロファイルが含まれています。

  テンプレートをサイトと関連付けます。

ステップ 1 **サイト** リストをサイトと場所 EPG とドメインが設定されて、サイトのテンプレートをクリックして、EPG をクリックします。

ステップ 2 **ADD DOMAINS** をクリックします。

ステップ 3 **ドメイン アソシエーション タイプ** フィールドで、できるタイプを選択します。

- **VMM**
- **Fibre Channel**
- **L2 外部**
- **L3 外部**
- **物理**

ステップ 4 **ドメイン プロファイル** フィールドで、以前に作成したプロファイルを選択または **物理サイズ** 。

ステップ 5 **導入即時** フィールドで、選択 **オンデマンド** または **即時** 。

ステップ 6 **解像度即時** フィールドで、選択 **オンデマンド** 、 **即時** 、または **事前プロビジョニング** 。

ステップ 7 変更を保存します。

次のタスク

サイトへの変更を含むテンプレートにプッシュします。

統合ビューですべてのテナントを表示する

マルチサイト GUI の **Tenants** タブを使えば、テナントの集約リストを表示できます。

Tenants パネル (**Tenants** タブの下) には、次のフィールドが GUI 内で表示されます:

- NAME: テナントの名前です。
- DESCRIPTION: テナントごとの説明です。
- ASSIGNED TO SITES: テナントが割り当てられているサイトの数です。
- ASSIGNED TO USERS: テナントが割り当てられているユーザの数です。
- ASSIGNED TO SCHEMAS: テナントが割り当てられているスキーマの数です。
- ACTIONS: テナントごとに実行できるアクションです。**Edit (編集)**、 **Delete (削除)**、またはそのテナントの **Network Mappings (ネットワーク マッピング)** の構成があります。

Tenants チャートに基づいてテナントのリソース使用率を決定することができます。